

新卒者の離職率がやや増加！

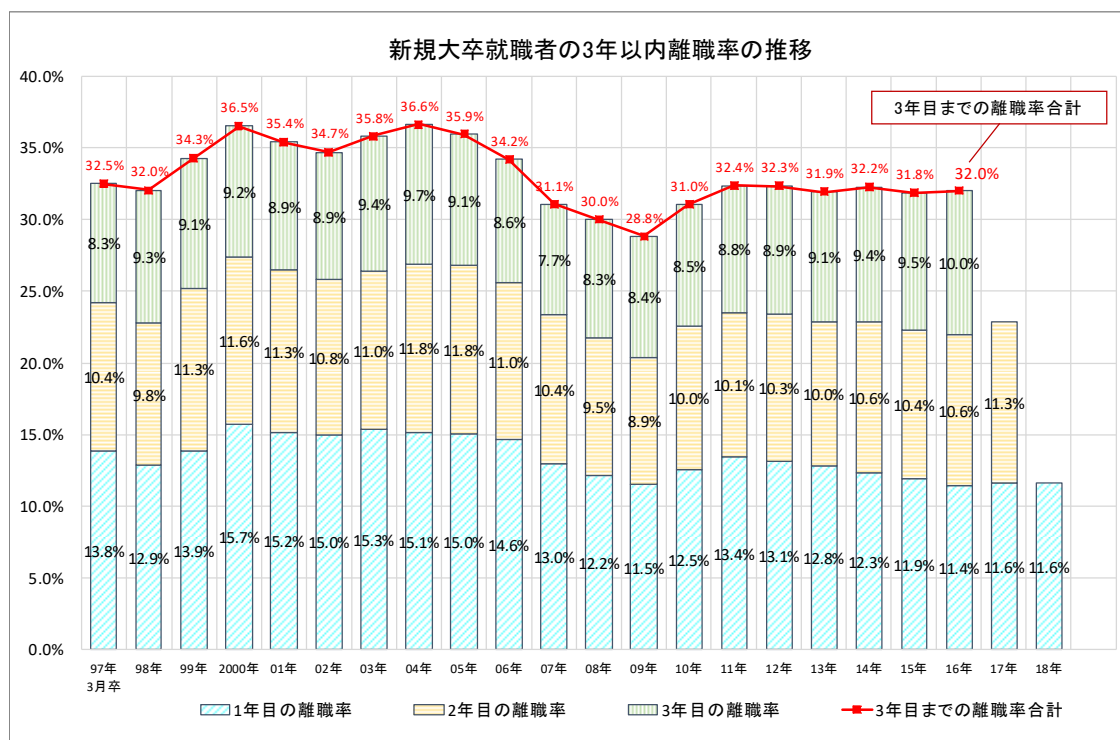
3年以内の離職率 30%超が恒常的に

旺文社 教育情報センター 2019年10月30日

厚生労働省がさきごろまとめた「新規学卒就職者の離職状況」によると、2016年3月に卒業した新規大卒就職者の3年以内の離職率は、全産業平均で32.0%だった。様々な離職要因があるにせよ、新規大卒就職者の3年以内の離職が3人に1人という状況が続いている。

■新規大卒就職者の離職率の推移

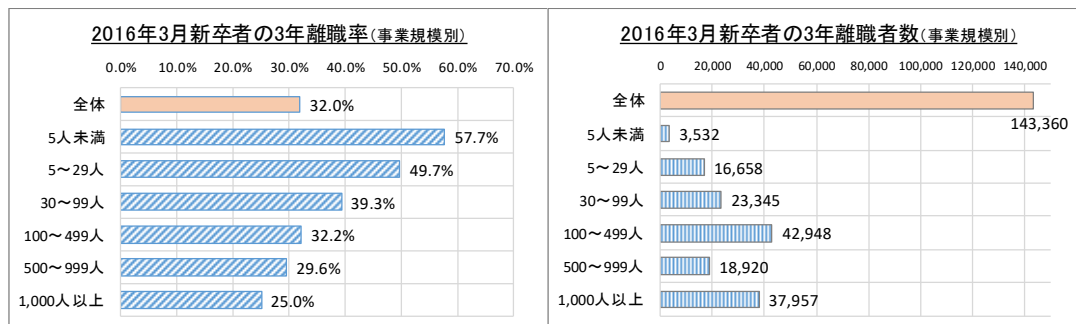
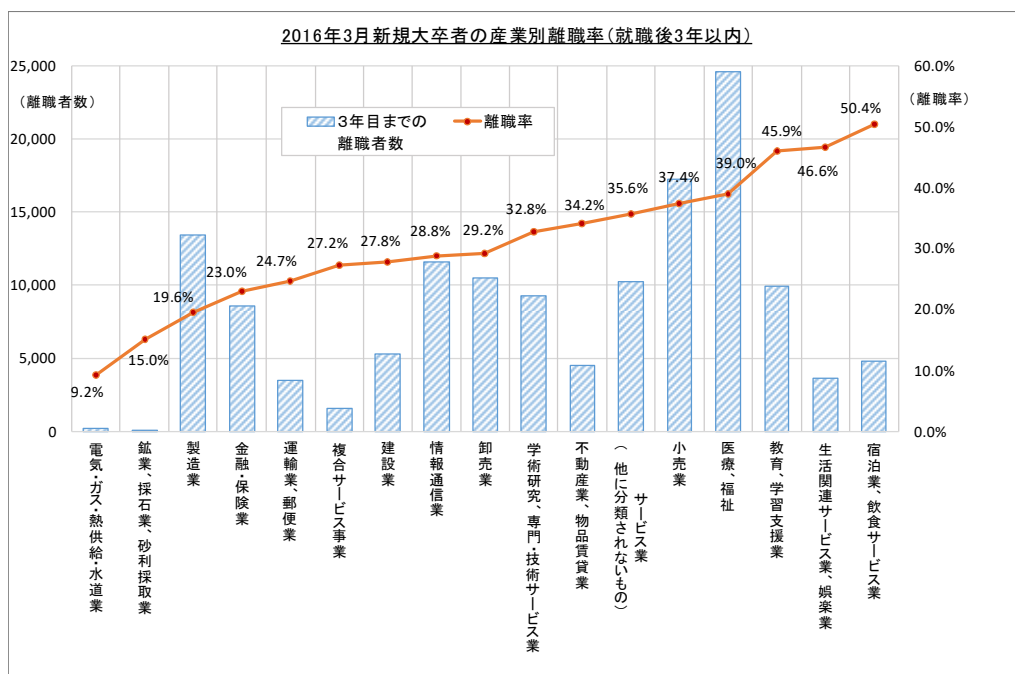
2016年3月に卒業した新規大卒就職者448,309人のうち、3年以内に離職したのは143,360人で、離職率は32.0%となり、前年より0.2ポイント上昇。近年では、2009年3月卒業者の28.8%を除き、30%台が恒常的となっている。同省では、就職率が低い（就職環境が厳しかった）年に卒業した者の3年後の離職率は高くなる傾向があるとしている。



■産業別、事業規模別の離職率

産業別の離職率の差は非常に大きく、電気・ガス・熱供給・水道業の9.2%、鉱業・採石業・砂利採取業の15.0%などに対し、宿泊業、飲食サービス業は50.4%、生活関連サービ

ス業、娯楽業は46.6%などとなっている。離職者数では、医療・福祉が新規大卒就職者63,093人のうち、3年以内の離職者が24,582人（離職率39.0%）で最多となっている。一方、事業規模別の離職率では、5人未満の事業所が57.7%と最も高く、1,000人以上は25.0%で最も低い。また離職者数では、100人～499人の事業所が42,948人で最多となっている。



■その他の校種の離職率

- ・短大卒＝42.0%（新規短大卒就職者149,752人のうち、3年以内の離職者62,832人）
- ・高卒＝39.2%（新規高卒就職者178,579人のうち、3年以内の離職者69,972人）
- ・中卒＝62.4%（新規中卒就職者1,190人のうち、3年以内の離職者743人）

ここ数年の離職率は、短大卒が40～42%程度、高卒が39～40%程度、中卒が62～67%程度で推移している。

【データ：厚生労働省資料】（2019年10月21日公表）

- ・この資料は、新規学卒として雇用保険に加入した者が対象で、その離職日から離職者数・離職率を算出。
- ・3年目までの離職率は、四捨五入の関係で1年目～3年目の離職率の合計と一致しないことがある。
- ・就職者数は基本的に卒業年次の6月末で確定するが、事業所の手続きの関係で、1年目、2年目、3年目で若干の変動がある。
- ・離職者数、離職率は、「2年目」の数値は1年目までの離職者を含む2年目までの離職者数と離職率、「3年目」の数値は2年目までの離職者を含む3年目までの離職者数と離職率を記載。